

履歴書

2016年4月6日

[氏名] 森千香子 (もり・ちかこ) [性別] 女
[現住所・電話番号] 〒186-8601 東京都国立市中2-1 磯野研究館114号室
[専攻分野] 国際社会学、都市社会学、レイシズム研究
[学位] 博士 (社会学) Ecole des Hautes Etudes en Sciences Sociales

[職歴]

2005年4月－2008年3月 南山大学外国語学部講師
2008年4月－2012年3月 南山大学外国語学部准教授
2009年4月－2010年3月 同志社大学一神教学際研究センター客員研究員
2011年4月－2012年3月 南山大学社会倫理研究所第二種研究員
2012年4月－現在に至る 一橋大学大学院法学研究科准教授
2013年4月－現在に至る 一橋大学ジェンダー社会科学研究センター員
2015年4月－2015年9月 東京大学文学部非常勤講師 (社会学特殊講義担当)
2015年10月－2016年9月 プリンストン大学移民開発研究所客員研究員

[所属学会ならびに社会における活動]

2002年10月－現在に至る International Sociological Association
2003年6月－現在に至る 日本社会学会 (2012年11月－2015年9月 国際交流委員)

[著書]

- 『排除と抵抗の郊外: フランス (移民) 集住地域の形成と変容』 東京大学出版会、2016年3月、p.304.
- 『排外主義をといなおすーフランスにおける排除・差別・参加』 (中野裕二ほかとの共編著) 勁草書房、2015年5月、p.272.
- 『国境政策のパラドクス』 (エレン・ルバイとの共編著) 勁草書房、2014年9月、p.272.

分担執筆

- 「承認がうみだす新たな排除とは何か」 田中拓道編 『承認論ー社会政策と社会哲学の対話』 法政大学出版局、2016年3月
- 「ヘイト・スピーチとレイシズムの関係性ーなぜ、今それを問わねばならないか」 金尚均編 『ヘイト・スピーチの法的研究』 法律文化社、2014年9月(pp.3-17)
- 「『人権の国』で許容されるレイシズムとは何か?ーフランスにおける極右、反移民政策、イスラモフォビア」 駒井洋監・小林真生編 『レイシズムと外国人嫌悪』 <移民・ディアスポラ研究3> (明石書店)、2013年10月 (pp.148-156)
- 「分断される郊外ー場の解体と強制されたフレキシビリティ」 町村敬志編 『都市空間に潜む排除と反抗のカーー差別と排除の (いま) 2』 共著、明石書店、2013年3月 (pp. 147-174)
- 「フランスの移民と左派ー共闘の条件と課題」 小沢弘明・三宅芳夫編 『移動と革命』、共著、2012年9月、論創社 (pp.124-134)

- 「多文化社会における反レイシズム文化構築の地平」 宇野重規編『つながる——社会的紐帯と政治学政治の発見第四巻』、共著、2010年10月、風行社、(pp.86-115)
- 「郊外コミュニティにおける『移民』の社会的排除と参加」 宮島喬編『移民の社会的統合と排除——問われるフランス的平等』、共著、2009年6月、東京大学出版会、239p. (pp.125-148)
- 「『宗教シンボル禁止法』論争が提起する問い——『ムスリム女性抑圧』批判をめぐる」 内藤正典、阪口正二郎編『神の法VS人の法』、共著、2007年7月、日本評論社、315 p. (pp. 156-180)。
- 「避難民の救済は可能か？」 コリン・コバヤシ編『市民のアソシエーション—フランスNPO法の100年』、共著、太田出版、2003年7月、363 p. (pp.151-179)

[主要論文]

«Heterogeneidad e Inestabilidad: Otra Perspectiva del Suburbio Japonés », *RECEI - Revista Científica de Estudios sobre Interculturalidad* Vol. 1 No. 1, 2015年12月

「移民の視点から—シャルリー・エブド襲撃事件をどう見るか」 『外交』 30号、2015年3月 pp.34-37.

「フランス郊外と都市政策の変容 貧困の撲滅から貧困の管理へ」 『現代思想』 2015年3月増刊号 青土社、2015年2月 pp.126-132

「過激派の根茎を涵養するイスラームバッシング —— 「パリ新聞社襲撃事件」を考える」 『中東研究』 no.522中東調査会、2015年1月、pp.55-62.

「反ヘイトスピーチ法はレイシズムを抑えられるのか? ——フランスのイスラームフォビアの事例から」 『日本の科学者』 2014年12月号 pp. 660-665

「貧困地区再開発と〈ソーシャル・ミックス〉 ——パリ郊外の団地地域再生事業と地域住民への影響」 『理論と動態』 7号、社会理論・動態研究所、2014年、pp. 57-75.

(Abdellatif Hammouche, Hélène Le Bailとの共著) « Le Japon, pays d'immigration », *Hommes et migrations*, N°1302, avril-juin 2013, 2013年6月、pp.7-11

« Esquisse d'une sociologie des banlieues au Japon : les cités HLM à forte population étrangère », *Hommes et migrations*, N°1302, avril-juin 2013, 2013年6月、pp.45-56

「欧州の民主主義VSムスリム移民—この図式は正しいのか?」 『外交』 vol.14, 時事通信社、2012年、pp. 54-59

« L'archipel invisible. L'écriture dans les "cultures de banlieue" », *Hommes et migrations*, N°1297, mai-juin 2012, 2012年7月、pp.68-79

「郊外団地と『不可能なコミュニティ』」 『現代思想』 2007年6月号、青土社、2007年5月、pp.174-182.

「『施設化』する公営団地」 『現代思想』 2006年12月号、青土社、2006年11月、pp.100-108.

「フランスにおける「イスラームフォビア」の新展開とその争点」 『日本中東学会年報』 20号—2、日本中東学会、2005年4月、pp.323-351.

「『売女でもなく、服従する女でもなく』—フランス郊外の女性運動とその『政治化』」 『世界』 2004年9月号、岩波書店、2004年9月、pp.242-249.